

令和6年度

子どもの居場所のための 地域ネットワークづくり相談会

日時:令和6年7月22日(月) 10:00 ~ 11:30

会場:オンライン(Zoom)開催

主催:埼玉県

運営:令和6年度子どもの居場所づくり推進事業事務局
NPO法人新座子育てネットワーク

本日の流れ

1. 開会挨拶 埼玉県福祉部こども支援課 主幹 若林 祐輔
2. 地域ネットワークについて
埼玉県福祉部こども支援課 主査 佐々木 牧人
3. 事例発表
こども食堂ネットワークいるま 村野 裕子 氏
坂戸子どもの居場所ネットワーク AKARI 森川 理江 氏
4. こどもまんなか、つながる居場所
NPO法人新座子育てネットワーク／
こどもまんなかネットワーク新座 坂本 純子 氏
5. 質疑応答

開会挨拶

埼玉県福祉部こども支援課

こどもの居場所担当

主幹 若林 祐輔

地域ネットワークについて

埼玉県福祉部こども支援課

子どもの居場所担当

主査 佐々木 牧人

「地域ネットワーク」について



埼玉県 福祉部 こども支援課



地域ネットワーク

居場所の運営団体や市町村、社協、支援企業などで構成され、団体間の情報共有やスケールメリットを生かした効率的な物資の受け入れ、輸送、保管などを地域で行うプラットフォーム



メリット

- こども支援拡充 ⇒ 団体が連携することできめ細やかな支援が実現
- 相談できる ⇒ 団体間で課題を共有、スキルアップ
- 助け合える ⇒ 課題解決に向けた相互扶助、合同研修会
- 大口寄附の受付 ⇒ 寄附品のシェア
- 寄附を効率的に保管 ⇒ 共同倉庫や共同拠点による効率的な運営
- 広報 ⇒ 情報集約がしやすく、対象者に届きやすい
- 運営体制強化 ⇒ 信用度UP、窓口の1本化



お知らせ



■補助金

【対象】地域ネットワークの立ち上げ or 機能強化

【補助上限】300万円

【募集受付】8月5日（月）～8月30日（金）

【条件】こどもの居場所運営団体5団体以上で、市町村が加盟するネットワーク
など

■説明会

【開催日時】7月31日(水)10:00～

【開催方式】オンライン（ZOOM）

【申し込み】<https://forms.gle/UQL89bwbiKPLPTaz8>



埼玉県 地域ネットワーク



事例発表ー1

こども食堂ネットワークいるま

村野 裕子 氏



こども食堂ネットワークいるま 村野裕子

×ネットワークの役割×



こども食堂・学習支援・その他子どもの居場所に
関わる活動の立ち上げ支援・継続支援



団体間の情報交換・ボランティアのマッチング
研修会の実施

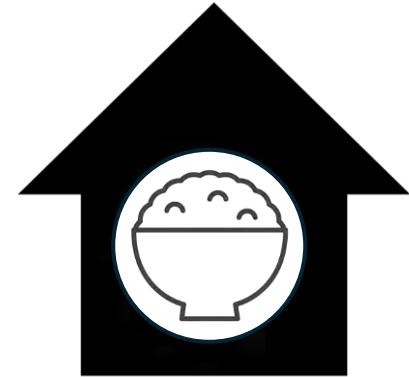
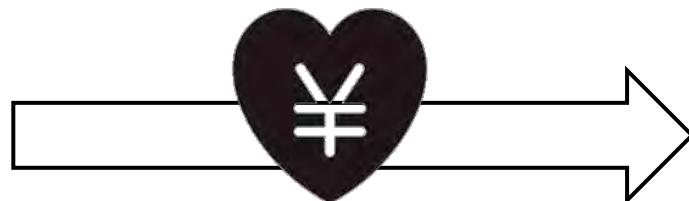
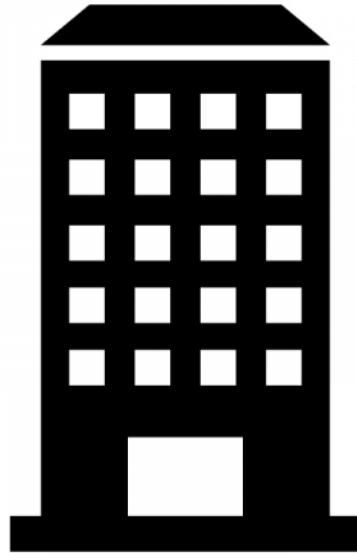


寄付金・寄贈品の受付及び分配



全ての子どもの笑顔を守るための活動の実施

× ネットワークのはじまり ×



- ・2017年 市内で初めて出来たこども食堂へ、市内企業から寄付金のオファー有
- ・市内各所でこども食堂を立ち上げたい！との声が上がっていたこともあり
ネットワークをつくることに
- ・事務局の設置場所など、紆余曲折しながら2018年2月に5団体でネットワーク発足

×ネットワークの現在×

ネットワーク登録団体:29団体
対象者に子どもを含む食等を通じた居場所事業



誰でもどうぞ・貧困家庭対象・地域限定・年齢限定
パントリー併設・多世代交流・特別な食事の場

登録団体
29団体



誰でもどうぞ・貧困家庭対象・地域限定・年齢限定
不登校の子限定・多世代交流・地域交流・体験活動
外国にルーツのある子ども達



誰でもどうぞ・貧困家庭対象・地域限定
年齢限定・外国にルーツのある子ども達

各場所に複数の要素が入り混じっている

× ネットワークの活動 ×

役員会・定例会・総会

- ・役員(9名)による役員会
- ・定例会(年間4回)では、情報交換や困り事の話等をして協力体制を作る
- ・ネットワーク活動では、各団体に協力を仰ぎ必要に応じて実行委員会を立ちあげる
- ・定時総会(年1回)の開催

寄贈品・寄付金の分配

- ・市内お寺さんより、お下がり品を受け取り、分配する
- ・家庭菜園や農家さんなどと繋がり野菜を分配する
- ・市内企業、個人の方々より頂いた寄付金を、希望する団体に助成金として分配する。
※助成金の金額
食事有→5000円/1回
(但し上限10000円/月)
食事なし→2000円/月

研修会・フォーラム等

- ・川崎こども夢パーク視察
- ・「やさしい日本語」講習会
- ・フォーラム開催
- ・入間市社会福祉協議会(事務局)との協働で、入間万燈祭りに紹介ブースを出店
- ・各こども食堂を巡るスタンプラリーの実施 等

× ネットワークの活動 ×

情報周知等

- ・オフィシャルLINEや
インスタグラムでの告知
- ・全団体を紹介するパンフ
レットの作成、配布
- ・各団体が、学校での広報
や地区センター等での活
動をスムーズに行えるよ
うに、市の担当課と連携
する。

※こども支援課
学校教育課
生活支援課等

事務局との連携

- ・入間市社会福祉協議会
に事務局を置かせて頂き
多くの連携を実施
- ・ボランティアのマッチング
- ・寄贈品の受入れや分配
- ・研修会や講演会の共同開
催
- ・お祭りでの広報ブースの
設置運営

緊急時の食支援

- ・新型コロナウィルス感染症
対策で、臨時休校になつた
際の食糧支援活動

【ランチお届けプロジェクト】
- ・こどもが集まる場所に食糧
をお届けし、日頃関わつて
いる大人から、こどもへ渡
してもらう取り組み

【KUROKOプロジェクト】

ネットワークの活動

緊急時の食支援からのはじまり

ランチお届けプロジェクト

新型コロナウィルスの影響による

臨時休校時にスタート

ランチお届けプロジェクト



1人分=レトルト食品7個
ご飯パック7個

2020年3月スタート
全7回 延べ3300セット配布

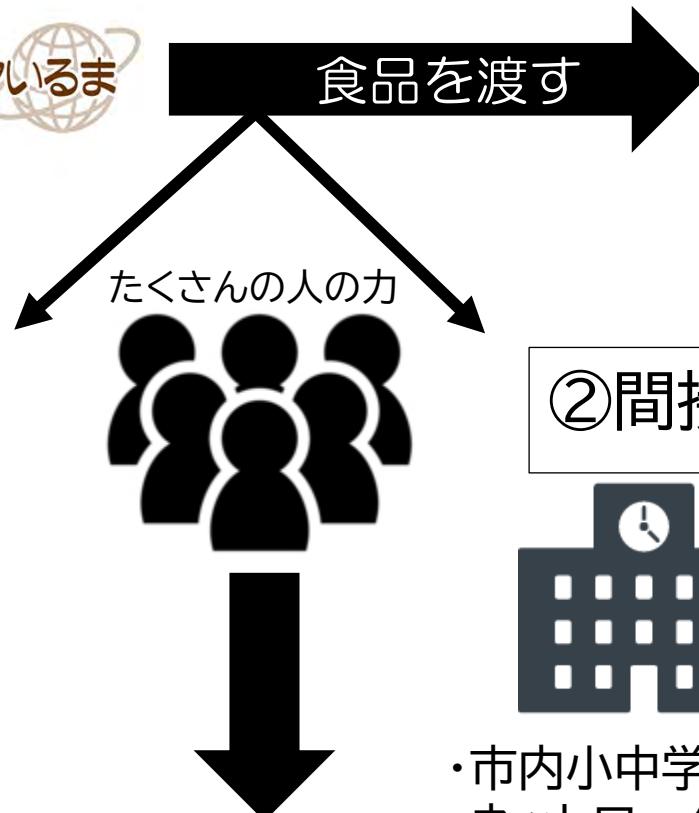
- 臨時休校時、全てのこども食堂がストップ
学校給食もない
レトルトでもいいから食事を届けよう！
- 申込方法がメールや電話だったこともあり
こどもからではなく、大人からの申込
- こどもが身近な大人に「お腹がすいた」
「困っている」と声をあげられる環境を作
りたい！お腹がすいているこどもを0人に
したい！
- 新規プロジェクト【KUROKOプロジェクト】
を2023年度より開始



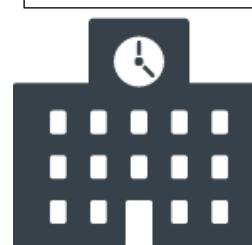
おなかがすいている子どもを0人に！自分で「困っている」と声のあげられる環境を目指す



KUROKOプロジェクト



- ・ネットワークに申込む
(メール・ホームページ等)



2024年度 小学校16校
中学校11校 全校に設置済

- ・市内小中学校、図書館、各居場所等
- ・ネットワークが食品をお届けし、その場に応じて使っていただく



ネットワークの課題

- ・役員の担い手不足
- ・団体数が多くなったことによる実態の把握
- ・財源の確保
- ・KUROKOプロジェクトの活用
- ・ホームページの運営→ここ解決！



R5年度 埼玉県子どもの居場所等地域ネットワーク支援事業



こども食堂ネットワークいるまHP→ irumakodomoshokudo.com

事例発表ー2

坂戸子どもの居場所

ネットワーク AKARI

森川 理江 氏

子どもの居場所のための 地域ネットワークづくり

【事例発表】

坂戸子どもの居場所ネットワークAKARI



ネットワークを立ち上げたきっかけ

①協力農家さん等・協力関係者との連絡の窓口の必要性

- ・坂戸市内の子ども食堂へ野菜等の寄付をしたいという申し出を頂いた👉受取の調整をする際に、ネットワークの窓口を作ることで、定期的に各団体へ野菜の提供を受けることが可能になる。
- ・ネットワークがあることで、個人や企業からの協力や寄付を受けやすい。

②協力関係者への報告(子ども食堂等の活動の紹介等)

- ・協力農家さんより、『坂戸市のどこに、どんな子ども食堂があるのか？子ども食堂の活動の様子を知りたい』と要望があった👉ネットワークを作り、チラシやHPの作成をすることで要望に応えられる。

立ち上げ時にどんなことをしたのか

①グループLINEの作成

- ・グループLINEを作る事で、各団体との連絡を取りやすくした

②Zoom会議を開催した

- ・昼間だと各団体との日程調整が難しい為、夜間帯にZoom会議を開き、ネットワークでやりたい事等について、各団体の考えを確認して計画を立てた。

③立ち上げの助成金を利用して課題解決を計った

- ・チラシ作成👉市内の子ども食堂地図、各団体の紹介を掲載。
- ・HP作成👉HPの更新ができるように研修を受けた。
- ・拠点の工事をした👉倉庫だった場所を事務所に。
- ・冷凍冷蔵庫の設置👉保管場所の不足を改善。
- ・新規子ども食堂の相談会、イベントでネットワークを紹介。

坂戸子どもの居場所ネットワーク AKARI
坂戸市内子ども食堂&フードパンtry MAP



自治会と共に
おこちやまが居る場所作り
おこちやマイル



Instagram

開催会場: 西坂戸自治会館内
坂戸市西坂戸 3-1-9
連絡先 : 049-286-9635
開催日時: 毎月第4土曜日
12 時~15 時 (月1回)
参加者 : 子育て世代
参加費 : 無料
代表 : 古内 琴美
自治会長: 照井 保



どうやってはじまつたの?

西坂戸団地内にあるこども食堂おこちやマイル。坂戸の最西に位置しておらず、市内で唯一の小中一貫校がある地域です。子どもの居場所が減っていく現状を何とかしたいという想いから、地域特性を活かし、自治体と共に『お子様(おこちやま)』+『居る』=『おこちやマイル』が創られました。

どんな活動をしているの?

毎月一度自治会館を利用して、寄付していただいた食材をもとにメニューを決め、ボランティアが心を込めて調理と配膳をしています。学生と一緒に

お子さんが率先してお手伝いをしています。

食事の前後に学生ボランティアの遊びが企画され、子どもたちは楽しみに待っています。例えばコロナ禍に於いて注意しながら『マーブリングで菜作り』『城山ハロウィン』がちよおされ、200名ほどが参加しました。

どんな特徴があるの?

学生が活動する『城西大学ロータークラブ』と連携した活動を行っています。子どもたちは学生発案のレクで交流ができ、楽しい遊びと美味しい食事で心もお腹も満たされます。

左: 学生と子どもたちでご飯作り
右: 企画「マーブリングで菜作り」
下: ある日のメニュー
肉丼、清物、味噌ごんにゃくなど

こどもだけじゃなく誰でも参加可

地域食堂 Smile



開催会場: 坂戸市新堀 159-1
入西地域交流センター内
連絡先 : 090-4419-1386
oyakosmile2@gmail.com
開催日時: 毎月第4日曜日を予定
12~15 時 (月1回)
参加者: 制限なし ※要予約
参加費: 中学生以下無料
子育て家族 300 円
社会的養護出身者 300 円
一般・シニア 500 円
障害者手帳持参の方無料
代表: 森川理江

どうやってはじまつたの?

児童養護施設出身の若者達との出会いから始まった地域食堂 Smile。若者支援で気付いたことは、彼らの生きる力となったのは支援者の伴走だけではなく、彼らを温かく迎え入れられる『居場所』の存在が大きかったこと。その居場所は、とある地域食堂でした。当時坂戸市には、多世代交流型地域食堂がありませんでした。そこで、必要としている方がつながれる場所になるよう願いを込め、一歩踏み出しました。

どんな活動をしているの?

毎月一度、入西地域交流センターの調理室を借りて、寄付していただいた食材をも



左: 会議室をお借りした食堂の雰囲気
右: 企画「アイロンビーズ」
下: ある日のメニュー
豚小間と白菜のサッパリ煮、ピザなど

お腹も笑顔もいっぱいに
なれる、そんな場所

**坂戸こども食堂
すまいる**



FB
開催会場: 坂戸市伊豆の山町17-54
坂戸市地域交流センター内
連絡先 : 080-4741-3272
smile.link_town@gmail.com
開催日時: 毎月第3 土曜日
11 時半~13 時半(月1回)
参加者: 制限なし
参加費: 中学生以下無料
高校生以上 300 円
※要予約
代表: 安川 光

どうやってはじまつたの?

「地域の子どもは地域で笑顔に」坂戸で3人の子育てをしている普通のサラリーマンでも、何か地域のために役に立てることがないか?そんな想いで始まったこども食堂です。地域の沢山の人に協力してもらい、月一回こども食堂を開いています。

どんな活動をしているの?

「こども食堂は、困っている人が行くところ」そう思っている人が多い現実を変えていきたいです。「子どもとふれあいたい、子どもの笑顔を見るのが好き」そんな思いを持っていても、周りに子どもと接点がない人が地域にいらっしゃいます。子どもたち



左: 元焼き鳥屋の小上がりを活かした食堂
右: 企画「バーベキュー・火起こし体験」
下: ある日のメニュー
ガパオライス・ワカメスープなど

とにメニューを決め、ボランティアが心を込めて調理と配膳をしています。
食事の後は隣りのブレイムームで、射的や魚釣りなどのゲームやミサンガ作りやアイロンビーズなどのワークショップでたっぷり遊べます。

どんな特徴があるの?

若者や学生スタッフ、地域の方や様々なご縁のある方達が集まり、一緒にご飯を作っています。食事の後は、ワークやゲームを子どもたちと一緒に楽しく遊べて、みんなの笑顔があふれる食堂です。

どなたでも参加できますので、皆様ぜひ、一度足を運んでみてください。優しい方たちが集まる素敵な場所です。

ネットワーク拡大の活動

壇上でネットワークの紹介、各小学校区に1つの居場所づくりを目指していることを伝え、応援協力を依頼した👉



👉 イベント開催時にチラシ100枚配布

ネットワーク立ち上げの感想

①話し合いの重要性

- 各団体とZoom会議で話し合いをしましたが、全員が同じ意見ではない為、全体を考えた場合の意見としての擦り合わせを最初にした事で、その後の作業がスムーズに行えた。

②拠点の維持について

- 立ち上げの助成金を利用したという事で、その後、運営の維持に関して発生する費用については、全てネットワーク団体で賄うことになる👉 家賃・電気代・HP等の更新等の解決について事前に話し合う必要がある。

③良かったこと

- ネットワーク内において、気軽に連絡が取れる事で、その都度、話し合いができる。
- 新規の子ども食堂等が相談しやすい。
- 各種課題解決や協力団体様の要望に応えることができた。

維持費の事前検討の必要性

年間電気代
約8万円程度
(旧型の冷凍冷蔵庫)



新規子ども食堂の相談窓口に！

新規の子ども食堂立ち上げ団体様からの希望で相談会を実施。自治体と連携したスタイルを参考にしたいとの事で、実践されている自治会長様を交えた立ち上げ支援の様子 



坂戸子どもの居場所 ネットワーク AKARI (あかり)

子どもの未来を地域のみんなで応援



坂戸子どもの居場所ネットワーク

AKARI(あかり)は、坂戸市を中心に子ども食堂やフードパントリーなど、子どもの居場所づくりの活動をしている団体の継続、発展の応援とネットワークの輪を広げることを目的として作られました。子どもたちの未来を支える活動を共に応援してもらえたなら嬉しいです。参加やご



Phone 森川



Email



スマホ版HP

PC版HP

This site was designed with the Wix.com website builder. Create your website today.

[Start Now](#)

坂戸子どもの居場所ネットワークAKARI

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [坂戸子ども食堂](#) > [お問い合わせ](#) > [寄付](#) > [ブログ](#)



坂戸子どもの居場所ネットワーク

AKARI (あかり)

子どもの未来を地域のみんなで応援



https://www.wix.com/pviral/enviral?utm_campaign=vir_wixad_live&adsVersion=white&orig_msid=1ebfbcb6-c62d-4220-a72b-809f8eeb4252

This site was designed with the Wix.com website builder. Create your website today.

[Start Now](#)

坂戸子どもの居場所ネットワークAKARI

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [坂戸子ども食堂](#) > [お問い合わせ](#) > [寄付](#) > [ブログ](#)



おこちゃマイル

西坂戸自治会館

おこちゃマイル

毎月第4土曜日（月1回）12時～15時
※最新情報はインスタから確認できます♪



キッチンモイ
こども食堂やまちゃん

毎月第4金曜日（月1回）17時30分～19時
※最新情報はインスタで確認できます♪



清水町25-9
SDGs坂戸ふれあい食堂

★ふれあい食堂・こども食堂
毎週木、金曜日と第2第4土曜日12時～15時
★フードパントリー・こども食堂 毎9最終日曜日

今後目指すところ

①子どもの居場所づくりの発展

- ・様々な事情を抱える子ども達が居場所で繋がる事はとても大事👉ネットワークの輪を広げていき、各小学校に1つの居場所づくりを目指したい。
- ・子ども食堂等で繋がった子ども達を更に支えられるように新たな取組を企画していきたい👉悩みや要望に応じて企画・連携。
- ・他のネットワーク団体の活動などを参考にしながら、地域の特性を活かして発展させていきたい。

②子育てに悩む親の居場所づくり

- ・子ども食堂で来場した親から悩みを聞いた時に開催中はゆっくり話を聞けない為、相談会等を企画していきたい。

こどもまんなか、つながる居場所

NPO法人新座子育てネットワーク／
こどもまんなかネットワーク新座

坂本 純子 氏

こどもまんなか つながる居場所

NPO法人新座子育てネットワーク
坂本 純子



NPO法人新座子育てネットワーク

<https://www.ccn.niiza-ksdt.com/>

1999年発足、今年25周年。職員約50人。

子育て支援センター・児童センターの運営、埼玉県各種受託事業等実施。

市要保護児童対策協議会・市・県地域福祉計画推進委員会、内閣府・県孤独孤立プラットフォームほか参画。



新座市

埼玉県南西部の東京都隣接、16万人口、6地域福祉圏域、17小学校区、3私立大学



妊娠期から18歳までの子ども・子育て家庭を、地域で支援しています。



Amazonで購入できます。

「二十歳になった子育てネットワーク」幻冬舎

新書

埼玉県子どもの居場所推進の旗振り役として…

2019年から埼玉県子どもの居場所づくり推進事業の事務局を担ってきました

令和5年度埼玉県子どもの居場所等地域ネットワーク支援事業

交付決定団体(受付順、敬称略)

県域ネットワーク支援事業 3団体

- ・埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会
- ・特定非営利活動法人 埼玉フードパントリーネットワーク
- ・一般社団法人 埼玉県子ども食堂ネットワーク

市町村域ネットワーク支援事業 19団体

- ・越谷子どもサポートネットワーク
- ・子ども食堂応援プロジェクト東松山えがお
- ・一般社団法人さいたま市子ども食堂ネットワーク
- ・子ども食堂ネットワークいるま
- ・よしかわ地域食堂ネットワーク
- ・幸手子育て支援ねっとわーく
- ・加須市子育て応援子ども食堂
- ・熊谷子ども食堂ネットワーク
- ・小江戸子どもサポートーズ
- ・戸田市子どもの居場所ネットワーク
- ・こどもまんなかネットワーク新座
- ・坂戸子どもの居場所ネットワークAKARI
- ・あさか子育てネットワーク
- ・三郷子どもの居場所ネットワーク
- ・こども応援ネットワークPine
- ・行田子ども居場所ネットワーク
- ・鴻巣市子どもの居場所ネットワーク会議
- ・ふかや子どもの居場所づくりネットワーク
- ・川口市子ども子育て応援プラットフォーム
かわぐちアドボ



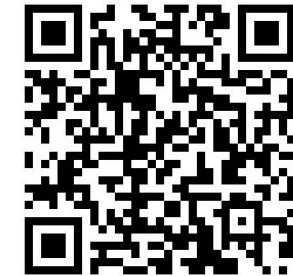


こどもまんかく ネットワーク新座

<https://sites.google.com/view/mannaka/>

1. ませこせたい
 2. だれでも食堂にいざ
 3. こどもカフェわんわん
 4. ふくふく子どものいえ
 5. のびっこひろば西分
 6. 北二福進協遊び場プロジェクト
 7. 立教大学SEMBRAR
 8. 新座自然宿
 9. ムササビルーム
 10. てらす新座
 11. NPO法人新座子育てネットワーク

にいざ子どもの未来 包括連携プロジェクトとは?



↑
報告書

本事業は、「新座市で、育ち・暮らし・学び・働く人々が、思い合い、支え合える地域になる」ことを中長期目標に、

①新座市内全17小学校区に一つずつ
子どもの居場所「子どもひろば」を開設

②プロジェクト全体の食を支える「フード
バンク」の整備

③子育てにおいて困難を抱えることの
多い「ひとり親支援」

を三つの柱に取り組んできました。

当法人を事務局に実行委員会を組
織し、新座市・新座市教育委員会・新
座市商工会のご後援、新座市社会福

祉協議会の協力を得て、公的支援との連携を視野に包括チームも設置し、全17小学校や大学、町内会、地域福祉協議体、商店会、企業・団体に、協力をお願いし、子どもを"まんなか"に包括的なつながりができました。

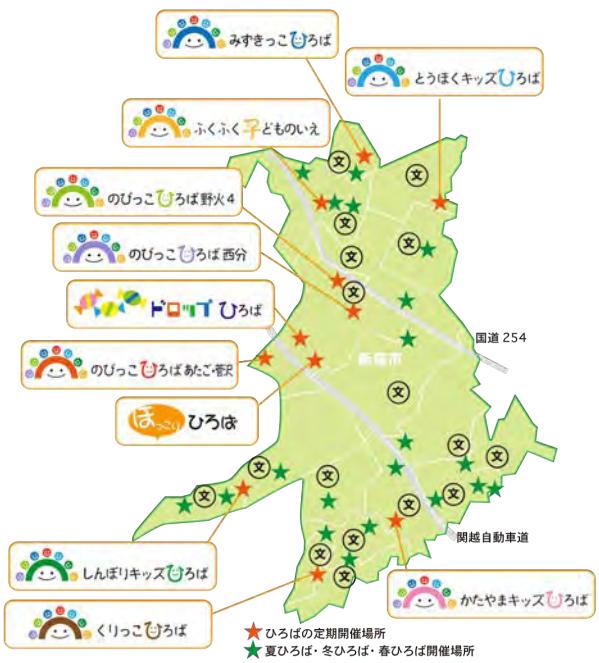
「子どもひろば」は全17小学校区で誕生し、参加者もボランティアも年々増加し、8小学校区で毎月1回の定期開催が実現しました。

「フードバンク」についてもSDGsへの呼びかけと、困窮世帯への注目とともに、年度を経るごとに規模を拡大。

当事者団体の消失により、市内で長らく支援が滞りがちだったひとり親家庭支援も再構築でき、フードバンクにも充実したものになりました。

コロナ禍と重なりながら、孤立化を迫られた子どもや保護者、地域住民、学生と、つながりの意味と役割、コミュニティにおける価値と重要性を体感する三年間、「なにか支援したいけど、どうすればいいかわからない」市内の多様なステークホルダーと連携しながら、「新座市で、育ち・暮らし・学び・働く人々が、思い合い、支え合える地域になる」成果を出すことができました。

- コロナ禍の3年間。2021年度～2023年度
- 17小学校区全てに子どもの居場所(子どもひろば)を提供、内 10カ所が定期開催化
- にいざシングルファミリーサポート(ひとり親支援)世帯 180登録

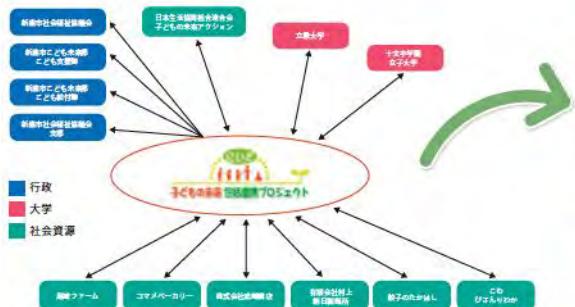


にいざ子どもの未来 包括連携プロジェクト

プロジェクトの波及効果

スタッフの訪問は3年間で322件
靴底を減らした努力

【プロジェクト開始時のエコマップ】(2021/6時点)





- **子どもの居場所マップ チラシ**
市内公立全小学校を通じて、全児童配布
- **子どもの居場所マップ ポスター**
市内公立全小学校に掲示
- **フードパントリー案内リーフレット**
市役所・社協の関係窓口に設置
- **のぼり旗・タペストリー・横断幕**
構成団体に配布、イベント時に活用
- **ホームページ開設**
居場所活動の紹介動画の制作公開
<https://sites.google.com/view/mannaka/>



- **おもちゃラボの開設**
共有で活用するおもちゃの整備
- **第1回ボランティア学習交流会**



振返り＊令和5年度埼玉県こどもの居場所等地域ネットワーク支援事業

埼玉県内のこども食堂等のこどもの居場所づくりを推進するため、こどもの居場所団体等の活動を支える地域ネットワークに対し、埼玉県が補助金を交付する事業。

主に市町村単位のこども食堂やフードパントリー等のこどもの居場所団体等で構成される、地域ネットワークの立ち上げ、機能強化を目的とした以下の事業

- ① 拠点の整備に関する事業
- ② 活動の広報に関する事業
- ③ 人材の育成に関する事業
- ④ 連携の強化に関する事業

申請事業の傾向

- 工事を伴う拠点の整備を行った団体 → 9団体
- 物品購入等で拠点を充実させた団体 → 14団体
- パンフレット・チラシ等、紙媒体での広報資料を制作した団体 → 14団体
- ネットワーク団体のホームページを制作・開設した団体 → 11団体
- イベント・講演会・フォーラム等を開催した団体 → 11団体

参考にしたいポイント＊事務局視点

- 「あさか子育てネットワーク」「行田こども居場所ネットワーク」は資金を分配利用し、拠点の整備・各種広報活動・イベント開催など、短期間ながらも多岐に渡る事業を展開
- 「さいたま市こども食堂ネットワーク」はマップの掲示や備蓄倉庫の設置などを、チェーン展開する民間企業と協力し、市内の広範囲に事業を展開した
- 「越谷こどもサポートネットワーク」「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」「坂戸子どもの居場所ネットワークAKARI」は民間企業等が所有するスペースを無償で借受け、拠点として整備し、活用継続している
- 「小江戸こどもサポートーズ」は市社協と居場所団体、各々の得意点を活かした連携でスムーズに事業を展開

令和6年度募集情報

<https://sites.google.com/ccn.niiza-ksdt.com/ibashonetsai>



子どもの居場所団体における ネットワーク構築の意義とは？

1. 情報共有・連携による支援の質向上と効率化
2. 孤立感解消、協働によるモチベーション向上と組織力強化
3. 関係機関との連携強化による支援体制の充実
4. 課題解決と持続可能性の向上
5. 地域全体の子どもの健やかな成長と社会貢献

課題と対策

- ネットワーク運営のための費用、労力、時間、人材などの確保が必要となる
- 各団体の独自性を尊重しながら、共通の目標達成に向けた協働体制を構築することが重要
- 長期的な視点でのネットワークを運営し、持続可能な成長を目指す必要性
- 関係機関との連携を強化し、行政からの支援を受けることで、課題解決を促進
- 情報セキュリティ対策、個人情報保護対策、倫理的な問題への配慮など、ネットワーク運営における様々な課題に取り組む必要性

子どもの居場所団体におけるネットワーク構築は、多くのメリットをもたらします。課題もありますが、関係者間で協力し、工夫することで、より良いネットワークを構築し、地域全体の子供の健やかな成長と社会貢献に大きく貢献することができます。

ご清聴、ありがとうございました。



こどもまんなか
ネットワーク新座

アンケートにご協力をお願いします

アンケートフォームはこちら↓

<https://forms.gle/wXRz85UFqC8bPTTQ9>



アンケートフォームは、zoomの招待メールにも、URLを載せてあります。
URLをクリックしていただき、ぜひご回答をお願いいたします。
本日はご参加いただき、ありがとうございました。